

KOBELCO
マルチ解体機
自動車解体
エンジン解体
一般廃棄物



コベルコ建機 電話03-5789-2111

日本ELVニュース

End of Life Vehicle

1年6回発行(1月 3月 5月 7月 9月 11月)

発行人 酒井清行
日本ELVリサイクル機構
連絡事務所
千葉県四街道市台中585
電話 043-432-5581
発行所(業務委託) (株)日刊市況通信社
大阪 大阪市中央区日本橋1丁目17-20 日本橋ビル5階
本社 電話 06-6631-5651

有限責任日本ELVリサイクル機構を設立

ELV協議会・部品協議会

日本ELVリサイクル推進協議会と日本自動車リサイクル部品販売団体協議会は6月16日、東京都品川プリンスホテルで、有限責任中間法人 日本ELVリサイクル機構の設立総会を開催した。来賓、会員ら180名が出席した。設立総会では、定款や事業計画など全ての議案を承認・可決した。これまでの任意団体から中間法人へと組織を変更して、再スタートする。

任、3号議案「平成17年度事業計画(①基本計画、②17年度重点活動計画、③組織・人事、④その他)」4号議案「平成17年度収支予算等を審議し、全会一致で承認した。」
経済産業省自動車課自動車リサイクル室長・宮本昭彦企画官の祝辞の後、寺谷優副代表理事が閉会

その後、会場を移して記念パーティーを開いた。来賓及び会員約180名が参集した設立総会には、青木勝幸理事の一本締めで盛会のついに閉幕した。

のあいさつを行い、設立総会第一部を終了した。第二部では永田勝也早稲田大学教授が記念講演を行った。

ELV協議会定期総会 10月からの活動は新機構に

ELV協議会は、同日午後1時から平成16年度定期総会を行った。開会の辞を南可昭副会長が述べ、酒井清行会長のあいさつの後、定数確認、議長長の選出を行い、議事を

ELV協議会では、北口賢二副代表理事(代表理事に代行)が開会の辞を述べ、

ELV協議会では、同日午後1時から平成16年度定期総会を行った。開会の辞を南可昭副会長が述べ、酒井清行会長のあいさつの後、定数確認、議長長の選出を行い、議事を



任中間法人日本ELVリ

いまこそ組織の力が必要

日本ELVリサイクル機構酒井清行代表理事

サイクル機構」という法人組織に到達することができました。このことはひとえに皆様方のご理解とご支援の賜物とあらためて感謝申し上げます。自動車リサイクル法はスタートしたばかりですが、われわれにとって大きな問題が発生していき

私どもの解体業界は、神奈川県50年史などの古い資料を見ますと、大正12、13年ごろには解体業という「業」が存在した、という記述があります。私は機会があるたびに、われわれの業界は少なくとも4分の3世紀ほどの歴史を有している業界だと言ってきました。

1世紀近い歴史を持つ業界として、いままでも諸先輩の方々が全国組織を立ち上げ、法人化を目指し、業種としての認証などを求める色々な努力をしてきました。しかし、なかなか大きな成果を挙げることができませんでした。

社会情勢の変化という追い風と、皆様のご協力を頂き、この度『有限責任中間法人 日本ELVリサイクル機構』という法人組織に到達することができました。このことはひとえに皆様方のご理解とご支援の賜物とあらためて感謝申し上げます。自動車リサイクル法はスタートしたばかりですが、われわれにとって大きな問題が発生していき

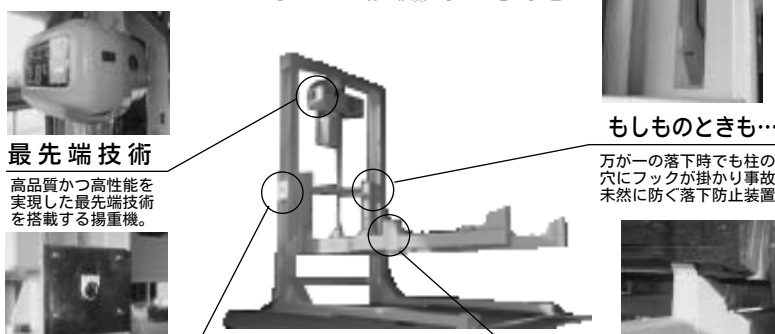
環境省のデータによれば、5,500社以上の事業者が自動車リサイクル法の許可を取得しています。いままでの日本ELVリサイクル推進協議会の会員は、1,000社余りと極めて不十分な構成です。できるだけ大勢の許可業者、関連の業を営んでいる事業者に新法人『有限責任中間法人 日本ELVリサイクル機構』のもとに集まって頂いて、大きな発展パワーが発揮できるように、ご協力願えればこれ以上の喜びはありません。

有限責任中間法人 日本ELVリサイクル機構が船出することを組織外の方々に案内する予定です。これまでも、わが組織に入っ

「サイドリフター」(登録申請中) ついに登場!

自動車解体・部品回収用リフト

自動車解体・部品業者が現場から発想し、プロが形にした



最先端技術
高品質かつ高性能を実現した最先端技術を搭載する揚重機。

簡単＆確実

確実性を求められるものだから、分かりやすくシンプルなスプリングターン式スイッチでの操作。

もしものときも…
万が一の落下時でも柱の穴にフックが掛かり事故を未然に防ぐ落下防止装置。

軽自動車から1BOX車まで
車両を固定するフォークはスライド自由。軽自動車から1BOX車クラスまで対応。

●本機の特長

- 最先端技術を搭載した高品質・高性能の揚重機との結合により安心設計
- 車体幅に対応する為に開発されたスライド機能付フォーク
- 二段式駐車装置で長年培った実績と技術が搭載された丈夫なフレーム
- 一番心配とされる落下を防ぐために手動ロックとガバナ装置の二重落下防止構造
- 誰にでも安全に操作でき、素早く停止ができるスプリングリターン方式の操作スイッチ
- 低ランニングコストで高耐久性の装置で容易に折りたたむ事ができ、運搬、移設も可能

●主要仕様

型式	JK-2000	
能力	車重2000kg以下	
揚程	1800mm	
受台寸法	Max1750mm	
上昇速度	50HZ 4.3m/min	60HZ 5.1m/min
下降速度	50HZ 4.3m/min	60HZ 5.1m/min
動力モータ	3.5kw	
電源	3相200V(50/60HZ) 200V(60HZ)共通	
全長	3000mm	
全幅	1910mm	
全高	3100mm	
柱芯	1600mm	
フォーク芯	1220mm	
フォーク長	2700mm(車幅1750mm以下)	
機械自重	1000kg	

販売元

東洋電動工事株式会社

〒702-8024 岡山市浦安南町565-1
TEL 086-263-0114 FAX 086-263-0122

設置場所

岡山オートリサイクルセンター
有限会社 宇野自工

〒701-0144 岡山市久米33
TEL 086-805-8811 FAX 086-805-8611

第一期事業計画をとりおぼめ

6事業を中心に活動

日本ELVリサイクル機構は、設立総会で平成17年度(第一期)事業計画をとりまとめた。

酒井代表理事は「ELV機構が実施する事業について「ELV機構が何を考え、何をしているのか」といったことが会員にきちんと言われ、会員の皆さんから活動の内容が見えること」が大切であるとし、「参加された人達の期待を裏切らないよう慎重に、かつ大胆に活動を行ってまいります」と宣言。活動基盤整備事業、リサイクル法対策事業、会員サービス事業、事務局整備事業、地域団体強化事業、関連団体との交流、の6事業を中心に活動していくことを決めた。

永田早稲田大学教授が講演

設立総会第2部では、永田勝也早稲田大学理工学部教授が、記念講演「自動車リサイクル法と今後の課題」を講演した。



永田勝也早稲田大学教授による講演会「自動車リサイクル法と今後の課題」

永田教授は、スクリーンに映した資料や図表を示しながら講演した。まず、瀬戸内海・豊島の産業廃棄物不法投棄について触れ、「地元の方は約30年間、この問題の解決に費やしてきた。90年11月、兵庫県警の摘発が行われ、こうした事態が明らかになってきた。03年9月から廃棄物の処理が開始され、60万トンの廃棄物を直島で処理す

ン問題については、「法の施行に一番危機感を持って、一番まじめに対応してきた解体業者を通じて、オークションとなくして、合理的な仕組みを通じて、不法な処理をされている可能性」に言及し、「自由経済、資本主義の仮面をつけてリサイクル法の定着を妨害している流通に対する異議を強く主張」して行くことを明言した。

また、自動車リサイクル法では、使用済自動車解体届出の手続きを済ませないで重量税の還付を向上させていくとした。

請求できないことを指摘。「解体業者が引取報告を行った時点で重量税の還付請求ができるよう、辛抱強く働きかけていく」と明記した。

る計画である。これにかかる費用は約500億円に昇るといわれ、適切な処理をしなければ、その100分の1くらいで済んだのではないかと言われている。今後こうしたことを起こさないためには、つけ回しをしない、未然防止が大切である」と語った。

採り入れたEU指令案の動向、④EPRの議論の活発化、⑤静脈産業の信頼性への不安、⑥ELVリサイクル・インシアティブの2015年目標の達成への懸念、⑦ELV処理費用の不透明性、⑧既存システムの崩壊の懸念などにより同法が制定された」と述べた。

と連携による一体的対応、③ELVフローの把握、モニタリング方法の確立・評価、④処理システムの安全・安心への十分な配慮、⑤3R。設計・製造に加え、特にASRの減量化と有害物質に対する対応の強化、⑥CO2削減の活用化・エアバッグのより安全な処理、⑦指定回収物品の見直し・追加、⑧設計・製造に加え、ELV処理でも積極的な情報公開が必要、と8項目を挙げた。

自動車リサイクル法については、「最終処分場の逼迫、ASR処理費用やELV処理費用の高騰による逆償化の進展、不法投棄・不適正処理・路上放置車の増加や環境対応の必要性の高まりにより生まれた」と解説。「それまで自動車はリサイクルの優等生と見なされていたが、①循環型社会元年(2000年)・環境意識の高まり、②フロン法制定・エアバッグ問題の動向、③EPRを

永田教授の講演終了後は会場を移して設立記念パーティーが催された。パーティーでは清水信夫部品流通部会長の挨拶に続き、来賓の経済産業省自動車課宮本企画官、環境省自動車リサイクル対策室山本室長、国土交

通省自動車交通局整備課川島課長補佐が祝辞。その後、自動車リサイクル促進センター中谷事務理事の音頭で乾杯し、歓談へと移った。約1時間半後、青木勝幸理事の一本締めで中締めとなり、盛会のうちに終了となった。

祝辞

〈経済産業省自動車課宮本企画官〉

このたびは日本ELVリサイクル機構設立おめでとうとございます。ELVリサイクル推進協議会が以前から業界団体として業界の発展のために尽力されてきました。自動車リサイクル法が1月に施行され、一定の成果が出ている訳ですが、オークションの問題などは依然としてあります。安定的な制度、安定的なりサイクルに至るには時間がかかります。自動車リサイクル法自体の改正も視

野に入れ、引き続き検討してまいります。〈環境省自動車リサイクル対策室山本室長〉

本日は日本ELVリサイクル機構設立総会という心からお慶び申し上げます。現在、オークションや車の流れなどの実態把握、新たな制度改革などに対して自治体と一丸となって取り組んでいます。自動車リサイクル法の許可を持たずに営業をしているなど、明らかな違法行為は摘発していきます。具体的な情報があればお寄せいただき、そつしたことから少しでも改善して行きたいと思っております。

〈国土交通省自動車交通局整備課川島課長補佐〉

皆様には自動車交通行政に多大なるご理解、ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。自動車の登録台数は7,500万台を超え、生産台数も平成16年度が1,051万台と三年連続1,000万台を超えました。自動車は市民生活、経済活動になくてはならないものとなっています。日本損保協会のアンケートによると、92・8%の方がリサイクル部品は環境に優しいと答えました。日本ELVリサイクル機構に結集した皆さんの役割が益々重要になっていきます。

有限責任中間法人 日本ELVリサイクル機構 理事・監事 名簿

代表理事 酒井 清行
副代表理事 北口 賢二(代表理事代行)
副代表理事 南 可昭
副代表理事 榎本 擴
副代表理事 寺谷 優
理事

Table with 2 columns: 氏名, 氏名. 1 佐々木一行, 2 早川 一二

Table with 4 columns: 氏名, 所属ブロック, 基盤組織, 本部組織. Lists members across various regions and departments like 法務・企画部, 地域支援部, etc.

このたびは日本ELVリサイクル機構設立おめでとうとございます。ELVリサイクル推進協議会が以前から業界団体として業界の発展のために尽力されてきました。自動車リサイクル法が1月に施行され、一定の成果が出ている訳ですが、オークションの問題などは依然としてあります。安定的な制度、安定的なりサイクルに至るには時間がかかります。自動車リサイクル法自体の改正も視

野に入れ、引き続き検討してまいります。〈環境省自動車リサイクル対策室山本室長〉

本日は日本ELVリサイクル機構設立総会という心からお慶び申し上げます。現在、オークションや車の流れなどの実態把握、新たな制度改革などに対して自治体と一丸となって取り組んでいます。自動車リサイクル法の許可を持たずに営業をしているなど、明らかな違法行為は摘発していきます。具体的な情報があればお寄せいただき、そつしたことから少しでも改善して行きたいと思っております。

MORITA advertisement for 50PAL type scrap car and glass recycling press machine. Includes company logo, contact info, and ISO/JAB certifications.

Taiyo Machine & Engineering Co., Ltd. advertisement for hydraulic presses. Features 'Taiyo's Car Press' and lists specifications like 300t pressure and various dimensions.

日本ELVリサイクル機構 設立記念座談会

これからの自動車解体業界の役割と課題

出席者

- 経済産業省製造産業局自動車課 自動車リサイクル室長 宮本 昭彦 氏
- 慶応義塾大学経済学部長 細田 衛士 氏
- 御日本自動車工業会環境委員リサイクル廃棄物部長 益田 清 氏
- トヨタ自動車(株)理事環境部長 酒井 清行 氏
- 日本ELVリサイクル機構代表理事 富高 幸雄 氏
- 司会進行 榎日刊市況通信社編集長

責任ある業界団体として

日本ELVリサイクル機構の設立にあたり、宮本昭彦経産省自動車リサイクル室長、細田衛士慶応義塾大学経済学部長、益田清日本自動車工業会リサイクル廃棄物部長、富高幸雄日刊市況通信編集長をお招きし、これからの自動車解体業界の役割と課題について意見をいただきました。ELV機構は、責任ある業界団体として、自動車リサイクルの担い手として、その役割が期待されています。

(6月3日、第一ホテル東京にて)

司会 本日は皆様ご多忙のところ、日本ELVリサイクル機構設立記念座談会に出席していただきましてありがとうございます。

最初に、ELV機構の立ち上がりについて、前身の日本ELVリサイクル推進協議会を含めて、これまでの役割や活動、将来展望を酒井さんから話をさせていただきます。

千葉県、東京都の7団体が集まり首都圏廃車流通協議会という組織をスタートしました。

それから、皆さんのご支援いただきながら全国に組織を拡げ、平成12年6月に日本ELVリサイクル推進協議会を立ち上げました。

設立直後の7月から産業構造審議会で自動車リサイクルシステムの法制化に向けた議論がスタートしています。

現場の声の集約に期待

協力関係と相互役割が大事

酒井 団体設立のきっかけとなったのは豊島事件でした。その後、平成7年4月からシュレッダーダストの処分方法が安定型から管理型に変わり、ASR処分費用の高騰により廃車ガラが逆有償化する懸念が出てきました。そこで埼玉県、神奈川県

ELV協議会の役割は、法を実際の解体業界の現場に適合した仕組みにできるかということ。それが、我々の活動の狙いでした。

自動車リサイクル法が今年から施行になったわけですが、なぜここで法

人化かということですが、今までの活動を通じて、組織の基盤がしっかりしないと継続性、永続性が難しいというところを会員の皆さんがやっとな認識し始めてくれたところがあると思います。

また、これから法体系

下新たに置かれた業界として、自動車リサイクル法の5年ごとの見直し、あるいは業許可の5年ごとの更新の際には、きちんとした発言力を持った組織の存在が必要だろうということがあります。

今までの解体業界は暗

世の中の大きな仕組みの中で役割を果たす存在として、この業界が持続し続けるためには、きちんとした情報がタイムリーに各事業者へ伝わる必要があります。情報の収集、発信を的確に行うためには、これまでの任意団体では限界があるため

今回の法人化につながったのです。

この方々に参加していただいたり、パブリックコメントを募集した際にも、ELV協議会各会員の方に積極的にお願いした。許可基準など法律の細則を決定する際に現場の実態を反映するうえで、非常に有益な活動をしていただきました。

自動車リサイクル法が施行されましたが、例えば日々の仕事の中で制度が現実と合っていないところは改善していく必要が生じますので、現場の事業者の方の声を引き続き汲み上げていただくような業界団体はきわめて大事です。

新しいELV機構が今回法人化もされ、まさに名実ともに業界団体として



エアバッグインフレーター作動装置・取り外し工具

特別普及価格でご提供いたします。



1 SRSエアバッグ一括作動装置処理ツール

エアバッグ類をより安全に効率良くもれなく、車上一括作動処理できる専用ツールです。

- ①エアバッグ(D席、P席、サイド、カーテン等)
 - ②シートベルトプリテンショナー
- (社)日本自動車工業会が定める業界統一規格による国内の全メーカーの車両に対応しています。
※1998年以降の国内自動車メーカーの新型車はほとんど全てこのシステムに対応しています。

98,700円 (税抜 94,000円) 消費税 4,700円



2 個別作動装置

左記の規格に対応していない電気式エアバッグを効率よく、個別に作動処理できる専用ツールです。アタッチメントの追加で複数同時作業が可能です。配線が生きている限りすべての車に対応可能です。
※一部の外車等には使用できません。

49,980円 (税抜 47,600円) 消費税 2,380円



3 取り外し工具 (ケース入り)

機械式エアバッグ及び事故車対応
※工具については個別販売はしておりません。

全42点セット 78,540円 (税抜 74,800円) 消費税 3,740円

※商品に関しては前金にて予約販売を申し受けます。
※都合上仕様を変更することがございますのでご了承ください。

ISO 14001 認証取得



総販売元

豊田通商株式会社

鉄鋼原料部 環境・リサイクルグループ
〒450-8575 名古屋市中村区名駅4-9-8(センチュリー豊田ビル)
TEL 052-584-5198 FAX 052-584-5200
http://www.toyotsu.co.jp

ISO 14001 認証取得



総代理店

豊通リサイクル株式会社

環境保全機器販売・触媒・中古部品回収
本社 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上1-55
TEL 0467-70-7461 FAX 0467-70-3625
担当 橋本・上坂

難物であるフロン、エアバッグ、ASRの3品目の引き取りとリサイクルの適正処理を実施する役割を担っているわけです。これらのことがうまくいくために、一つはカーメーカーがこの品目の処理を進めると同時に、新たな取り組みとしてリサイクル設計の取り組みを始めています。

高度なリサイクル技術に向けてカーメーカーの取り組みと、あと二つあると思うのですが、その一つに再資源化事業者の解体事業者さんをはじめ、皆様の第一線で適正処理が重要な役割になると思っております。

ELV機構が設立され

より高度化されていくという事はカーメーカーとしても歓迎する取り組みであり、大変期待をしております。

もう一つは消費者、車所有者の意識改革、役割



宮本昭彦氏

責任をとって3品目を処理することは大事なのですが、非常に大きな点をいざわば車をめぐる静脈をめぐらして、高度な処理、高度なリサイクルを進めるというところだと思います。そのために解体業界の果たす役割は非常に大きい。今回は車のメーカーのEPRばかり強調され

業界の危機管理高度化も

司会 いろいろなエールをいただいたのですが、これを踏まえて、酒井さんはどのような感想をお持ちでしょうか。

酒井 皆さんから暖かい目を見ていただきながら、ここまでやる事ができました。いままで5年間、任意団体としての



細田衛士氏

活動が少し実を結んできた証だと思えます。細田先生がおっしゃったように、情報がない、基礎データがないという

不足感を実際に現場で業務に携わっている我々にとっても、確かに十分感じているところです。その判断の基礎となるべきデータがないと、どうしても過剰な期待や過剰な心配があるといったような、どちからに振れがちだということのようなことが起きています。

中長期に大きく飛躍していくためには、まずメンバーに情報、全体の流れといった情報提供を含め、どれだけ嬉しさを提供して皆さんとともにバージョンアップに向けて取り組まれるかということだと思えます。

それが結果的にリスクマネジメントの高度化に

審の中心メンバーとして自動車リサイクル法の受胎以前から法として誕生するまで、全ての過程にかかわってこられた。細田 今回の法律で、車のメーカーがEPRで

責任をとって3品目を処理することは大事なのですが、非常に大きな点をいざわば車をめぐる静脈をめぐらして、高度な処理、高度なリサイクルを進めるというところだと思います。そのために解体業界の果たす役割は非常に大きい。今回は車のメーカーのEPRばかり強調され

受託する立場にあるので、例えばリスクマネジメントという考え方についても啓蒙していかねばならないでしょう。司会 益田さん、解体業者のリスクマネジメントという観点でどう思われますか。

益田 こういった団体は会員事業者、企業、メンバーにどれだけ役割を提供してあげることができるのかということだと思います。

司会 新法が施行される5カ月が経過しました。その運用の現状はどうなんでしょう。

酒井 解体業界は新しい制度に初めて組み込まれる立場になって、ある意味で大きな不安も持ちながら、逆に期待も非常に大きかった部分があります。多くの解体業者は法律を理解し、守ることによって、自分たちの商

いい協調関係ができていなければいけないわけです。そういう意味で、今回のこの機構の立ち上げは非常に大きい。それから基礎的な統計データを整備するなどの役割もあります。そうすることで、自己分析することにもなっていくわけです。

情報を集め、共有し、発信する。そして質の向上を図る。そして法の枠組みの中で、適正な競争をする。そういう取り組みをこれからやっていく。そのためにもこのような団体はぜひとも必要だと思います。

要と思います。会員の方の利益増進を図るだけではなく、世の中にとって養育としていいたい何ができるのかということについても積極的に考えて頂きたいと思っております。

司会 今回の業界団体になったという事は、世の中にとって養育としていいたい何ができるのかということについても積極的に考えて頂きたいと思っております。

要と思います。会員の方の利益増進を図るだけではなく、世の中にとって養育としていいたい何ができるのかということについても積極的に考えて頂きたいと思っております。

要と思います。会員の方の利益増進を図るだけではなく、世の中にとって養育としていいたい何ができるのかということについても積極的に考えて頂きたいと思っております。

新法施行後の問題点

「引取業者の役割は十分か」

司会 新法が施行される5カ月が経過しました。その運用の現状はどうなんでしょう。

酒井 解体業界は新しい制度に初めて組み込まれる立場になって、ある意味で大きな不安も持ちながら、逆に期待も非常に大きかった部分があります。多くの解体業者は法律を理解し、守ることによって、自分たちの商

具体的指摘しますと、

具体的指摘しますと、



環境&21世紀に向けて

HEIAN

自動車用アルミ再生業
信頼されるパートナーとして
あらゆる可能性に挑戦します

株式会社平安

ガラクーダー

〈二方・三方締め兼用〉
廃車プレス機

- 堅牢な構造
- 高性能な廃車ガラプレス機
- 待望の低価格

東 京 TEL(03)5687-1211
大 阪 TEL(06)6838-9410
http://www.fujicar.com
名 古 屋 TEL(052)621-6900
福 岡 TEL(092)622-1758
サービ部 東京 TEL(03)5687-1211
大 阪 TEL(06)6838-9411

富士車輛株式会社

比を割り続けています。5月の数字はわかりませんが、4月までは90%台で推移しているというように、このことを見ると、オークションで落札した車について、さらに検証が必要ではないかと考えています。

それから、抹消登録制度にからむ問題ですが、破産業者の引取報告が出ないという状態が続き、重量税還付の対象に

安定的に回すことが大事

制度評価は3〜5年経て

宮本 御指摘のとおり自動車リサイクル制度の中で引取業者はリサイクルの入り口として重要な役割を果たしています。引取業者の方々には法律に則った業務を行っていただくよう、本年1〜2月に引き続き、現在各地で中古車販売業者向けの説明会の開催など行っているところです。



益田 清氏

また、オークションについては、いったん廃車扱いとなったクルマが中古車として取引されることのないよう従前からオークション場の業界団体であるオークション協議会と御相談をしております。

抹消登録制度、自動車

もならない制度となっております。このため引取業者さんは、直接的な要求ではないですが、すぐに破産業者に回すよう要望する。

その結果、リユース分野の中古部品の活用が十分にできない状態が続いています。120日間の在庫期間というのが実質ないがしろにされている。この点についても、もう少し配慮いただかないと、解体業者は何のたのめのリサイクルシステムでの役割を担っているのかというところになると思います。



酒井清行氏

また、重量税の還付手続きについても解体業者

とです。その仕組みをどれだけ円滑に安定的に回していくのかが大事です。

例えば違法なカチカチで廃車が流れていないのか。何か偽装的な取引が行われているのかといったようなことについて、現場にいちばん詳しい解体業者の方に積極的に情報発信をしていただくことが大事だと思います。

国際素材相場の影響も

鉄スクラップ価格は設計時の3倍に

益田 今回の制度は大変大きな制度で、使用済自動車処理という意味では初めての社会制度を皆でつくって動かしたという大革命、大変革だと思っております。そういう意味で私はずっと立ち上がったというものが率直な気持ちです。中でも電子マネーフレスト制度というのは、世界に類を見ない、大変き細かい日本独自の制度だと思っております。

細田 当初思ったとおりのことが法律で本当にその通りになるかどうかの見極めはとても難しい。一つはこの法律によって影響される範囲が大き

引き取りのことも大事だと思えます。

以上は点ばかりで重要な点ですが、やはり自動車リサイクルの流れをどれだけ大きく、しっかりと、しっかりさせていくのかということも大事だと思えます。

細田 当初思ったとおりのことが法律で本当にその通りになるかどうかの見極めはとても難しい。一つはこの法律によって影響される範囲が大き



司会 = 富高幸雄氏

り、3年間の暫定措置が行えば、もうその車は二度と市場で使われることはない。ですからこの時点で重量税の還付手続きが可能になるようにしていただけないかという現場からの声が非常に多い。そういうところに関心を感じているところです。

また、重量税の還付手続きについても解体業者

大きな制度を立ち上げて、その評価というのは3年なり、5年なりのスパンがかかるでしょう。そういう大きな制度を構築すれば、その制度にキヤッチアップするようない、ビジネスチャンス求めようとするいろいろな人も参加して行く。

細田 当分は環境ビジネスの第一人者として、ビジネスと環境の両方に精通されている。では、いまのような変化は、どのようなかたちで分析されているのでしょうか。

酒井 相場の面では5年前、この法律の議論を始めたときには、鉄スクラップのH2が6500円とか7000円という時代で、まさかいまの相場が来ることは想定していません。設計されたのではないかとこのころがあります。スクラップ

大きな制度を立ち上げて、その評価というのは3年なり、5年なりのスパンがかかるでしょう。そういう大きな制度を構築すれば、その制度にキヤッチアップするようない、ビジネスチャンス求めようとするいろいろな人も参加して行く。

細田 当分は環境ビジネスの第一人者として、ビジネスと環境の両方に精通されている。では、いまのような変化は、どのようなかたちで分析されているのでしょうか。

酒井 相場の面では5年前、この法律の議論を始めたときには、鉄スクラップのH2が6500円とか7000円という時代で、まさかいまの相場が来ることは想定していません。設計されたのではないかとこのころがあります。スクラップ

この判断をしてはならないということが第一点です。

かなり重い制度を作った動機は、一つの経済の系に対して境界条件が変化してわけていく。いきなり均衡値にはおちつかなくて、ELVのフローにも影響があるわけですね。これはオークションの影響とか、どういった影響がきたのかは、なかなか見極めがきかない。特にいま鉄の価格の動きもずいぶん変わってしまっています。上がった、下がったり乱高下がありますので、一概にどの影響で商流が変わったかというのには難しい。

酒井 相場の面では5年前、この法律の議論を始めたときには、鉄スクラップのH2が6500円とか7000円という時代で、まさかいまの相場が来ることは想定していません。設計されたのではないかとこのころがあります。スクラップ

が引取報告を行えば、もうその車は二度と市場で使われることはない。ですからこの時点で重量税の還付手続きが可能になるようにしていただけないかという現場からの声が非常に多い。そういうところに関心を感じているところです。

これは個別に解体事業者さんの入庫状況や処理の前年比レベルを見ると、少し落ちてきているところもあれば、おっしゃる通りに前年比60%ぐらいのところもあるようなところも散見されます。しかし前年超えされているところもあります。

そういう意味でビジネスの商流が若干動いている状況が、いまではないか。競争も起きていると思いますので、そういう流れをよくキヤッチしていただいて、取り組みをしていただければと思います。

そういう意味でビジネスの商流が若干動いている状況が、いまではないか。競争も起きていると思いますので、そういう流れをよくキヤッチしていただいて、取り組みをしていただければと思います。

廃車ガラ・あき缶・鉄スクラップ・アルミサッシ・廃家電の全てを処理する万能プレス機

《ハードプレス21》登場!

これまでのプレス加工では、投入材料によって使用するプレス機を使い分けなければならず、小型プレス機、廃自動車プレス機、三方筒プレス機など、それぞれに設備投資を行って来ました。無論、そのためのスペース確保も必要でした。しかし、これからは無駄な投資もスペースも必要ありません。たった一台のプレス機がすべての処理を可能にします。

あき缶から廃車ガラまで、一台で何役もこなす万能タイプのプレス機、それが新発売の「ハードプレス21」です。基礎工事不要の据え置き型で、設備投資費を抑え、工事期間もわずか。遠隔全自動操作で運転はだれにでも簡単に出来ます。生動力には迅速な処理と消費電力コストの削減を両立する50HPを採用し、高いコストパフォーマンスを実現します。

最新のリサイクルシーンを見つける兼六工業から、ハードプレス21の登場です。ユーザーの期待に応えるマルチな活躍をお確かめください。

モデル	ハードプレス21	本体寸法(mm)	6000(W)×5040(H)×9630(D)
モーター出力	50HP	投入ボックス寸法	2000(W)×1300(H)×5000(D)
プレス所要時間	約2分40秒	製品出来上がり(廃車)	2000(W)×650(H)×FREE(D)
処理能力	50~60トン/日	あき缶 アルミサッシ 廃家電	500(W)×650(H)×FREE(D)

特許2037009号

株式会社 兼六工業

本社工場 〒334-0075 埼玉県川口市江戸袋2-7-22号 TEL 048-285-0911 FAX 048-285-0914

金沢工場 〒920-0211 石川県金沢市湊町3-8-11 TEL 0762-37-5323 FAX 0762-37-8416

相場がリサイクル法に与える相場の影響を高く懸念する業者の立場を離れ、日刊市況通信社編集長として、ぜひご覧になっていただきますか。

司会 制度設計の3年前、鉄スクラップH2の平均単価は8800円でした。ところが制度が動いた2005年1月の値段は、なんと2万4000円。制度設計のときの3.5倍ぐらいの値段でマーケットが動き始めた。こ

のためにシュレッダー業者の競争力が制度的にかさばりだしたと見えます。まず、価格が制度設計のときの3倍以上上がった。さらにシュレッダーの処理コストが消えた。このため「量のデメリットから量のメリット」に転換した。

アジア全体での資源循環 まず堅牢な国内システムを

酒井 細田先生、相場の変動に対する制度の堅牢性という点、その点についてはどうですか。

細田 経済学者の予想は当たりませんが(笑)、まさか鉄スクラップがここまで値上がりするとは思っていませんでした。

これは考え方の違いです。この世界はまだ成熟化していないという気がします。つまり相場に影響されやすい。家電リサイクルの場合は、それほど相場に影響されません。それはある種の頑健なシステムができていたのかもしれない。それを考えたら、この世界はまだまだ足腰が弱い。

一番大きなポイントは、静脈物流で最初に集める段階、つまり粗なるものを密にする段階、静脈物流という世界は漏れなく集めるかどうかが重要だと思います。家電はある

一方、ASR処理費が消えたことによる量のメリットをフルに享受できるようにになった。

また、一方で中古車輸出が増えることで、国内残留が少なくなり、使用済自動車集荷競争が激しくなる。中でも新規参入した解体業者は、価格、集荷の両面でインパクトをもたらした。このため在来業者は、厳しい

つつ、さらにアジア全体の中で循環のネットを広げることができるとはならないかという提言をされました。自動車リサイクルは国内法ですが、広い視野、新たなビジネスの広がりという点から、何か教えていただければ助かるのですが。

細田 現実的な問題として、資源循環というのは日本だけで閉じない。鉄スクラップなどは当然、需要は東アジア圏から出てきて、日本はもう供給国になることは当然なわけです。透明なトレーサビリティというところで、私たちは汚染性もあるようなものもあるわけですから、それをどうやってフォローして、自分の国も汚さない、ほかの国を汚さないシステムを作るか。

そのためには、国内でしっかりしたシステムを作り、いい資源が出て、国際資源相場に乗るものなら、そこに流しめしよ。それも市場と制度とのインターフェースをどう

訓練に立たされてしまっています。

酒井 スクラップ相場の高騰が制度に与える影響は少なからずあるのではないかと見方もあるのではないかと思います。

これが一時的な影響で済むのか。これから先に価格変動による影響を受け続けなければいけないものなのか。宮本さん、そのあたりはどうなのでしょうか。

宮本 相場の変動もあ

うま〜つくるかということになるのです。ただ議論が始まったばかりです。リサイクルシステムのいろいろな法律ができたので、しっかりこれをレビューして、それを土台として、いい資

源循環をどうするかを考えた方がいいと思います。海外に出た車も自動車メーカーとしてある程度対策を考えるべきではないかという意見もあります。自工会としてはどのようなお考えな

自動車解体先進国として

益田 自動車産業はグローバルに生産をし、相互補給体制を組んでいまして、EU指令での4物質の規制と法律での規制を、日本でも自主取り組みとして、ヨーロッパのレベルに合わせるというところから、始めています。日本のほとんどのメーカーは2007年、8年ぐらいに

007年、8年ぐらいに、全世界での4物質の規制をやるというところから、環境負荷物質へのグローバルな取り組みと規制はもうすでに始まっているところ、理解いただきたいと思えます。

アジアでの廃車処理というところに、どうい

うか、各関係者がどういう役割を担うことが想定されていて、それぞれ役割をきちんとして担っているのかというところについて、それぞれの方がお考えいただくことがいちばん大事だと思います。ディーラーさんにはちゃんと義務を果たしているのか、解体業者の人は義務を果たしているのか、破砕業者の人は果たしているのかというところをまず考えるのが第一です。

のでしょか。

益田 いま細田先生がおっしゃった東アジアを中心とした日本からの資源が輸出をされ、利用されているということも一つです。その中の一つに自動車もあるのではないかと考えています。

自動車がたくさんアジアに中古車として出ていくという事実もあるわけですが、これも大変難しい問題です。今のアジア、世界の循環のルールづくりと同じで、まったく社会情勢や生活水準も違う。私も各国のいろいろな車の事情を見ていて、日本ではよく路上放棄とかいいますが、そういう車が多くなると、ビーン本まで再利用する国もたくさんあるわけ

です。今、宮本さん、車に対する輸入規制を考え始め、簡単に入らなくなる。それ以下の経済レベルの国は、なかなか購買力が伴ってこないで、そう爆発的に輸出は増えない。

細田 先生がおっしゃったように、制度と相場の市場性、インターフェースが比較的うまく機能しているのではないかと。すなわちそういう車をそっくり買って行けば、その域に持って行けば、そういう車はいくらでも売れて、その地域を走り始める。

このように考えがちですが、現場感覚から言っていると、車の購買力がついてくる経済力を持ち始めた

す。そういう中でどうするかたちで共通のルールにしていくのかというのには本筋に大きなテーマで、課題だと思えます。

細田 おそらくEUや日本は、共通の話合いができて、制度化できると思いますが、たぶん発展途上国で車という廃車などあるのかという状況だと思えます。ただし僕は、環境配慮設計も含めて、メーカーというのは動脈、静脈を合わせたときにどういう責任を果たしているのか。環境負荷の少ない、次世代の交通手段のあり方も含めて、メーカーには考える責任が私はあると思います。これはぜひ考えていただきたい。

ましたので、宮本さん、皆さんの意見を踏まえて、お話を聞かせていただけますでしょうか。

宮本 発展途上国の中には自動車を解体する技術力が十分でない国もあります。そういう国に対して、日本が解体業先進国として手本なりを示せるところがあるのではないかと。そういう面でELV機構が国内で発展され、海外にも技術援助など通じて貢献をしていく、そういうことが今後の業界としての目指すべき方向性としてあるのではないかと。思います。

司会 本日は皆さんに活発なご意見をいただきました。ありがとうございました。

時間も迫ってきました。

鉄スクラップの国内販売・輸出

廃モーターリサイクル

セルモーター ラジエタープレス ハーネス 白黒エンジン etc **求む**

リサイクル・カンパニー



大原商事株式会社

本社 大阪市西淀川区花川2丁目21番12号 大原ビル
TEL 06-6473-1898(代) FAX 06-6473-5827
集荷ヤード 大阪港内櫻島埠頭・尼崎港・伊万里港
海外 韓国・中国

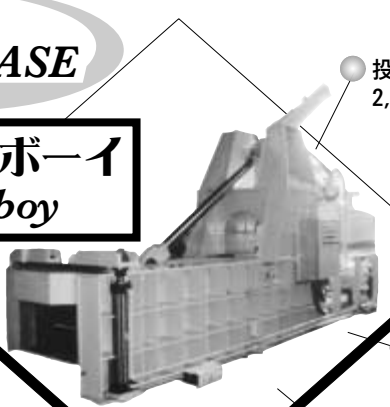
技術と実績

プレス・シャーリングの



NEW RELEASE

キューブボーイ
Cubeboy



投入ケース寸法
2,200^L×900^W×800^H
(1方締)

モーター
37kW×1台

押力
250TON

油圧シリンダー
最高使用圧に対して、
5倍以上の安全率!

操作方法
ソフト・ミディアム・ハードの
3段階切替可能(自動・手動)

—カタログ進呈・
ご一報次第係員参上—



能村機械株式会社

本社工場 東大阪市鴻池1622の1 電話大阪 (0729) 61-1755-8番

自動車リサイクル法

解体業、破碎業の許可業者一覧表(3月号掲載分)正誤表

日刊市況通信社調べ

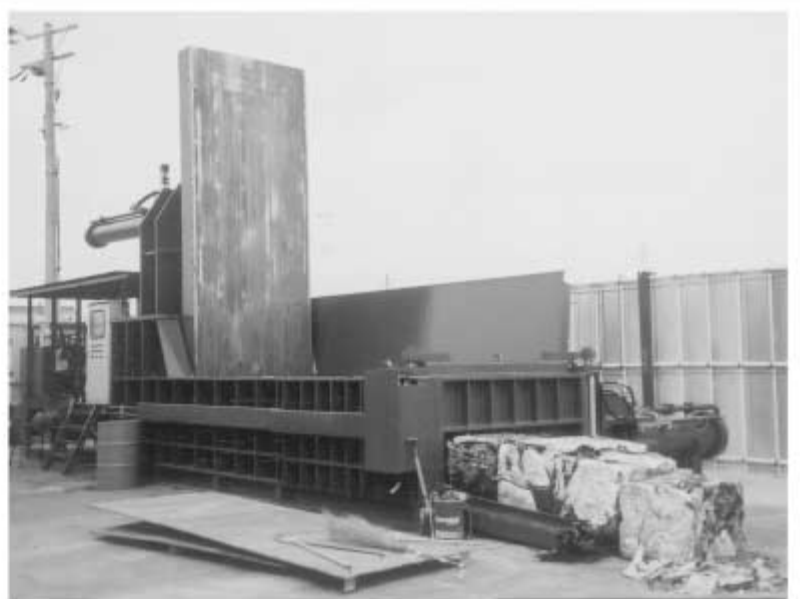
2月25日付け発行・日本ELVニュース3月号の記事のうち、「全国・解体業破碎業の許可業者一覧表に誤りがありましたのでその正誤表を掲載いたします。関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことをここに深くお詫び申し上げます。

Table with columns for '誤' (Incorrect) and '正' (Correct) entries, listing business names, locations, phone numbers, and status (e.g., '現在').

Table with columns for '誤' (Incorrect) and '正' (Correct) entries, listing business names, locations, phone numbers, and status (e.g., '現在').



三方締廃車プレス機(横蓋式)



三方締廃車プレス機(縦蓋式)

※その他各種プレス機を製作。

有限責任 中間法人 日本ELVリサイクル機構

JAERA JAPAN ELV RECYCLER'S ASSOCIATION

加盟団体一覧

北海道ブロック

北海道自動車処理協同組合

東北ブロック

青森自動車リサイクル協同組合
岩手県ELVリサイクル協議会
秋田県自動車解体処理協同組合
宮城県中古自動車解体再生部品卸協同組合
山形県自動車解体協議会
福島県自動車解体協議会

関東東ブロック

茨城県自動車リサイクル協同組合
栃木県自動車リサイクル協議会
千葉県自動車解体業協同組合
埼玉県自動車解体事業協同組合
埼玉県自動車解体部品協同組合

関東中ブロック

東京江戸川自動車解体商興会
東京中古自動車部品協同組合
西東京自動車リサイクル協会
城東自動車解体部品組合

関東西ブロック

新潟廃車処理協同組合
長野県ELVリサイクル協議会
山梨県カーリサイクル協同組合
静岡県自動車解体業協同組合

中部ブロック

富山県自動車解体部品組合
石川県中古自動車部品協同組合
豊田メタル協力会メンバー
岐阜県自動車解体部品協同組合
三重県自動車リサイクル協議会
ELV愛知リサイクル協会

近畿ブロック

大阪自動車リサイクル協同組合
大阪自動車産業協同組合環境対策委員会
和歌山県自動車リサイクル事業協同組合
滋賀県自動車解体協同組合
兵庫県自動車リサイクル処理工業会
兵庫県中古自動車部品協同組合
播磨自動車解体組合
奈良県ELVリサイクル協同組合

中国ブロック

岡山県自動車リサイクル協同組合
ヴィークル リサイクラー クラブ
広島適正ELVリサイクル協同組合
ヴィークル リサイクラー クラブ 広島

四国ブロック

香川県自動車リサイクル協同組合
愛媛県自動車部品リサイクル協同組合
高知県自動車リサイクル協同組合
徳島自動車リサイクル協同組合

九州ブロック

北九州ELV協同組合
シーアール福岡協同組合
佐賀県自動車解体部品協同組合
大分県ELV商業組合
熊本県ELV商業組合
熊本県自動車再利用パーツ協同組合
宮崎県自動車リサイクル協同組合
鹿児島県自動車部品リサイクル協同組合
長崎県自動車中古部品卸売組合

沖縄ブロック

沖縄県自動車リサイクル協同組合

部品販売団体

部友会
(株)システムオートパーツ
自動車補修部品研究会
日本パーツ協会
TCRグループ
シーライオンズクラブ
テクルスネットワーク
NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
リビルド工業会全国連合会

(平成17年6月16日現在)

入会のご案内

入会ご希望の方は、会社名、連絡先(住所、電話番号、E-mail)を連絡事務所までFAX又はメールでお知らせください。
入会案内を送付いたします。

日本ELVリサイクル機構 連絡事務所

〒284-0037 千葉県四街道市中台585
TEL: 043-432-5581 FAX: 043-432-5582
E-Mail: jaera-office1@ninus.ocn.ne.jp

自動車リサイクルの新たな潮流… 私たちはリードし続けます。

自動車リサイクル法の施行により、
自動車の適正なリサイクル処理の義務付けが現実となっています。
今、その新しい流れの中心で、
私たちシステムオートパーツグループの社会的な
存在意義はますます高まっています。

©システムオートパーツグループは日本ELVリサイクル機構を全面支援しています。

加盟店募集中

私たちシステムオートパーツグループは、
リサイクル部品の供給・販売を行う全国の
仲間を募集しています。お電話ください。
今が加盟のチャンスです。

地球環境に貢献するシステムオートパーツ

いま、全世界規模で環境問題への取り組みが重要な課題になっています。特に、自動車産業の環境問題への取り組みは、大きな関心を持たれており、循環型経済社会の形成に向けた試みが図られています。

そのキーワードとなるのが、3つの言葉、「Reduce(リデュース), Reuse(リユース), Recycle(リサイクル)」。廃棄物の排出を抑え、使用可能な部品を再利用し、再資源化することを、それぞれ表しています。限られた資源の有効利用と再利用を図るため、自動車の開発設計段階から、省資源、長寿命化、排出物の低減または消滅、部品の再資源率、再利用率の向上などを踏まえたクルマ造りが行われています。

このような状況の中で、リサイクル部品を供給する私たちシステムオートパーツの社会的意義は、大いに高まっています。

厳正な部品チェックを通じて高品質のリサイクルパーツを安価に提供する。このようにして、クルマの再資源化を我々は推進しています。

部品流通ネットワークの統合により、共通在庫情報を実現!

国内有力リサイクル部品業団体が結集、共同運用しているJAPRA(ジャプラ)システムにより、部品のプロ達により厳選された優良高品質なリサイクル部品を供給しています。

部品のお問い合わせ・加盟店参加など
お気軽にお問い合わせ下さい。

☎ 0120-39-3782



システムオートパーツグループ

本部: 〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町10番20アルコイリス二日町1F
TEL(022)266-0736(代) FAX(022)216-3025
<http://www.sap-net.co.jp>